福井工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	第２外国語Ⅱ（中国語）

科目基礎情報

科目番号	0098	科目区分	一般 / 選択必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	中国語　つぎへの一歩		
担当教員	章 路,森 貞		

到達目標

（１）中級的な中国語を理解する、話すことができ、中国語の基礎を身につけるようになること。
（２）文法の特徴、言葉遣いなどを通じ、日本語との違い、考え方の違いに気づき、もっと異文化を理解できるようになること。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
中国語の基礎を身につけること	発音、簡体字、文法を正しく把握した上で、独自性のある中国語の文書も作れること。	発音、簡体字、文法をある程度把握し、教科書通りに定型文を作れること。	発音、簡体字、文法を把握できず、教科書通りの定型文も作れない。
日本語との違いを理解すること	十分正確に理解、しっかり中国語の文法で文を作れる。	ある程度正確に理解、日本語を作る論理で中国語を作らない。	全く理解できず、日本語の考えだけで単語を並べる。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 RA1

教育方法等

概要	発音、文法をを学習し、中国語を聴く・話す・読む・書くことの基礎を身に着ける。また中国に関心を抱き、自分なりに考えられるようになる。
授業の進め方・方法	教科書の内容を解説した後に、聴く・話す・読む・書くこともみんなで練習もしていく。
注意点	試験は期末で成績の60%を占める。出席状況とレポート提出等が残りの40%となる。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	復習	基本動詞、形容詞、文型を思い出す
		2週	第１課 文法、例文解説	「可以」「要」、主述述語文、目的語主述語文を理解できるようになる
		3週	第１課 トレーニング	「可以」「要」、主述述語文、目的語主述語文を活用できるようになる
		4週	第２課 文法、例文解説	「的」用法、「因」、文末助詞「吧、呢」を理解できるようになる
		5週	第２課 トレーニング	「的」用法、「因」、文末助詞「吧、呢」を活用できるようになる
		6週	第３課 文法、例文解説	連動文、「是～的」文、疑問詞「怎么」を理解できるようになる
		7週	第３課 トレーニング	連動文、「是～的」文、疑問詞「怎么」を活用できるようになる
		8週	第４課 文法、例文解説	３つの「了」、副詞「就」を理解できるようになる
	2ndQ	9週	第４課 トレーニング	４つの「了」、副詞「就」を活用できるようになる
		10週	第５課 文法、例文解説	様態補語、可能性の「会」、仮定の「要是」を理解できるようになる
		11週	第５課 トレーニング	様態補語、可能性の「会」、仮定の「要是」を活用できるようになる
		12週	第６課 文法、例文解説	結果補語①、副詞「有点儿」を理解できるようになる
		13週	第６課 トレーニング	結果補語①、副詞「有点儿」を活用できるようになる
		14週	中国語バラエティ鑑賞	生の中国語を聞きながら、勉強してきたものを復習する
		15週	テスト解答	テストを振り返り、間違った部分を直す
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	

評価割合

	試験	出席／レポート提出唐	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0